



芦安中学校だより

第 6 号

校長 大石 浩雄

2025. 6. 30

☆プール開きを行いました

6月18日(水)の2校時にプール開きを行いました。梅雨の時期ではありますが、ここのところ気温が30℃を超えることもあり、生徒にとっては待ち遠しいプールの授業だったと思います。プール開きの中では、事故防止のための注意点などを指導しましたが短時間で終了して、その後は今年度初の水泳授業を行いました。生徒達は気持ちよさそうに水に入っていました。

この日から1学期末までの約1か月間、体育の授業が基本的に水泳となります。世間では水泳の授業を敬遠する生徒のことをよく聞きます。確かに着替えをしたり、髪を乾かさなければならなかったりと面倒なことがあるかもしれませんが、ただ、水泳の授業は、泳ぎの技術だけでなく、仲間と協働することや水に入るときに注意点、いざというときの命の守り方まで、将来生きていく上で必要なことを学ぶ機会です。面倒に思う気持ちもわかりますが、その気持ちのために大切な学びの機会を失うことは、自分の将来をどんどん縮めてしまっているように感じます。芦安中の生徒には、自分の将来の可能性が広がるような選択ができる力を身につけてもらいたいと思います。



☆花壇の除草とマリーゴールドの植え付け

6月19日(木)の朝の時間を使って校庭の花壇にマリーゴールドの植え付けを行いました。「あしやす」という形にならべて植えるという作業を楽しんでできていました。作業中、去年は植えた直後にシカに食べられてしまったから、今年はテントに泊まって見張りをしようといった話をする生徒もいました。これまでの経験に基づき次の方法を考えるということができた点



で、こういう考え方をするところぞ令和型の学びにつながると思いました。

せっかく植えたマリーゴールドを食べられてしまうことは悲しいことです。ただその経験を前提に、「深く考えず前年と同じことをする」のか、「どうせ食べられてしまうのだからと活動をやめてしまう」のか、それとも「シカに食べられないような方法を考え実行してみる」のかでは、学びの深さや生きる力に大きな差があります。教科の内容とは直接関係ありませんが、子どもの「学び」について考える機会になるといいと感じました。

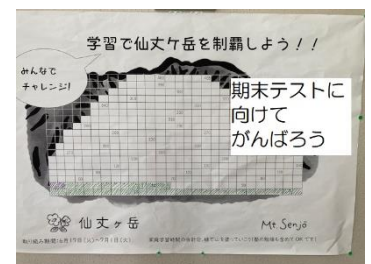


☆全校登山スローガン 和衷協同(わちゅうきょうどう)

7月7・8日に実施予定の全校登山に向けたスローガンが登山実行委員会を中心に話し合われ、「和衷協同～みんなて協力しながら、ともに山頂へ～」と決定しました。このスローガンには、登りきるという強い意志や仲間の心をつ一つにして励まし合うこと、一緒に登ってくれる方への思い等を込めたとのことでした。

全校登山に関連してもうひとつ、学習でも仙丈ヶ岳を制覇しようという取り組みが始まっています。生徒それぞれが家庭学習をした時間分だけマスを塗りつぶすチャレンジです。生徒によって家庭学習の時間に多少の差があるかもしれませんが、みんなてひとつの目標に向けて自分ができる努力を精一杯するという経験は、「他者との協働」をするときに大切な心構えをつくってくれるでしょう。

全校登山に限らず芦安中の多くの活動は、社会に出たときに必要な力(＝非認知能力と言われます)の育成を目指しています。生徒がスローガンに掲げた通り、最後までやり抜く力や他者と協働する力を身につけていくことに期待しています。



☆防犯教室(SNS 学習会)を 実施しました

6月23日(月)の6校時、南アルプス警察署から3名の講師をお招きして防犯教室(SNSの危険性等についての学習会)を行いました。学習会の中では、身近にある犯罪として、落書きやポイ捨て、いじめ、万引き、ネットでの誹謗中傷などがあること、最近の傾向として薬物や出会い系サイトへのアクセスの危険性が高まっていること等が話されました。



最近はスマホを持っている子供が増加していますが、それに伴い、いろいろな問題や危険も増加傾向です。子ども本人が軽い気持ちで犯罪を起こす場合と逆に犯罪の被害者となる場合、どちらも増加しています。これからの社会ではスマホやPC等を使うスキルは欠かすことができないものです。だからこそ、それを正しく使い、危険を避ける判断力や自制心がとても重要になってきます。学校でもこうした指導は継続的に取り組んでいますが、ご家庭でもぜひお子様のネットとの向き合い方についてご指導をお願いいたします。

☆広河原で開山祭に参加 & 自然学習を実施しました

6月28日(土)の午前に広河原で行われた南アルプス開山祭に全校生徒が参加しました。開山祭では市観光課の要請で合唱の披露をさせていただきました。市長や市議会議員をはじめ日頃生徒がお世話になっている芦安FCや山岳連盟の方、環境省のみなさん、山小屋関係者、警察関係者などたくさんの方々と開山を待ち望んでいた登山客がいきました。そうした多くの方たちの前で合唱をできたことは、他では経験できないとても貴重なことであったと思います。会場にいた参加者からも小中学生がさわやかな声で歌ってくれてよかったなどの声をいただきました。



午後は芦安FCのみなさんにご協力をいただき、広河原園地で自然観察学習を行いました。自然についての

興味関心や知識を持つことももちろんですが、小学生との縦割りグループの中で、中学生自らがリーダーシップをとり、グループをまとめながら学習に取り組むことができることがもうひとつの目標でした。それぞれのグループで良くできている時と今一步の時がありましたが、参加した中学生全員がどこかの場面で自分の良さを発揮していたように感じました。



生徒には、開山祭、自然観察学習に参加して感じたことと学んだことを感想用紙に記入するという振り返りまでができるように課題が出されています。生徒が何を感じ、何を学んだのか感想用紙の内容に期待したいと思います。

☆もうすぐ県総合体育大会 これまでの集大成

今年度はこれまでよりも少しだけ早く夏休みになります。それに合わせるような形で各競技の県総体の日程も早まっているところがあります。本校の生徒が出場するのはバドミントンで7月19日から大会が始まります。1年生から3年生までの合計5名(シングルスに男子2名と女子1名、ダブルスに女子1ペア)が出場します。それぞれが個人の目標に向けて練習をしています。

総体は多くの3年生にとっては最後の大会であり、全国大会までつながる中学年代最大の大会です。運動部に所属している生徒の多くがこれまでの集大成として目標にしています。試合ですから勝敗があります。勝てればもちろんうれしいでしょうし負ければ悔しいと思うことでしょう。ただ、試合はトーナメント方式で、優勝者以外は必ずどこかで負けてしまうわけです。ですから負けたときに自分が何を感じるのか、多くの選手にとって大切になります。

総体まであと20日余りしかありませんが、出場する生徒には自分が納得できる取組をしてもらいたいと思っています。





芦安中学校だより

第 7 号

校長 大石 浩雄

2025. 7. 16

☆期末テスト、到達度テストを実施しました

6月30日(月)、7月1日(火)の2日間で期末テストが行われました。1年生にとっては初めての定期テストでした。また、7月3日(木)には1学期に学習した内容全体の到達度を確認するテストも行われました。生徒達にとってはテストが連続してちょっと大変だったかもしれません。今回の期末テストや1学期間の授業の様子などを含めた結果をもとに1学期の成績がつけられ三者懇談も行われます。生徒にとって通信表は楽しみでもあり心配でもあるかもしれません。

ところでなぜテストをするのでしょうか。もちろんこれまでの学習の定着度を確認めるといったこともあります。それと同じくらい大切な事として、結果に至る過程を振り返り、次の行動にいかす機会とするためということがあります。結果(得点)が納得できるのであれば何が良かったのか、逆に満足できないものであったならば何が悪かったのか、どう改善すればよいのかを考え、次に向けて実行することができるようにすることが大切ということです。テストが終わり夏休みまであと少しです。生徒には夏休みの間に何を実行するのかをしっかりと考えてもらえるといいと思っています。

☆ふれあい運動会に向けた取組が始まっています

ふれあい運動会は2学期の事ですが、少しずつ取り組みが始まっています。現在、中学校の生徒会と小学校の児童会で活動のテーマや競技の内容などについて話し合いをしています。芦安小中学校では合同活動が多くあります。その活動の大きなテーマは「Growth

～世界一芦安小中学校～、ふれあい運動会については「みんなで協力して全力で楽しむ運動会」と児童会生徒会が中心となり、児童生徒全員の総意で決まりました。

ふれあい運動会では、単に児童生徒たちが競技をして勝敗を競うだけでなく、地域の人との交流を通して、地域とのつながりや地域への貢献といったことも学ぶ側面もあります。芦安小中学校の特色でもあるふれあい運動会が生徒にとっていろいろな面での学びの場となるようご家庭でも声をかけていただけるとありがたいです。

ふれあい運動会

日時: 令和7年9月27日(土) 8:30～12:30

雨天の場合は28日(日)に順延



☆自分の将来について考える 夏休みに

3年生には現在、各高校から体験入学や説明会の案内がたくさん来ています。また、2年生は夏休み中に職場体験が予定されています。1年生についても2学期に職業についての学習を行う予定です。こうした自分の将来や進路に関係する学習を積み重ねていくことを「キャリア教育」と言います。



キャリア教育は特定の職業に就くための知識や技能を学ぶ「職業教育」とは異なり、「自分らしい生き方を実現するための力を育む」ことを目指しています。そこでは、自分はどんな生き方をしたいのかというイメージを持つことや自分自身を知ること、世の中にある多様な生き方や価値観を理解すること、自律性や課題解決能力・コミュニケーション能力を身につけること等たくさんのことが必要になります。

夏休みは自由な時間が多くなります。積極的にいろいろな体験をすることができます。生徒にはたくさんの体験を通して自分の将来についてじっくり考えてほしいと思っています。ご家庭でも将来についての話題を取り上げるなどしてご支援をお願いします。

夏休みは自由な時間が多くなります。積極的にいろいろな体験をすることができます。生徒にはたくさんの体験を通して自分の将来についてじっくり考えてほしいと思っています。ご家庭でも将来についての話題を取り上げるなどしてご支援をお願いします。

☆全校登山結団式

7月3日(木)の6校時に登山実行委員によって全校登山に向けた結団式が行われました。登山についての細かい確認とあわせ、あらためて全校登山の意義や目的を確認しました。



登山に際しては体力のある人もいれば不安を抱えている人もいます。多様な人がいること、自分と違う状況の人がいることを理解して、その上で互いに助け合って、みんなで頂上に立つことができる素晴らしい登山になるようにしたいと思いました。

また、4日(金)の朝の時間を使い登山旗の披露も行われました。1年生の内藤さんのデザインを採用して登山実行委員が協力して作成をしたものです。仙丈ヶ岳へと続く道と豊かな花畑が描かれています。登山当日はこの登山旗を持って山頂で記念写真を撮れるとよいと思います。



☆全校登山で仙丈ヶ岳に挑戦してきました。

7月7日(月)・8日(火)に1泊2日で仙丈ヶ岳へ全校登山に行きました。広河原から北沢峠に向かう林道の崩落のため、しばらく実施できていなかった仙丈ヶ岳登山ですが、今年度は長野県側から北沢峠にまわり実施しました。実に7年ぶりの仙丈ヶ岳登山となりました。

1日目、長野県側をまわるためバスに乗っている時間が少し長くなりましたが、乗り物酔いをする生徒もなく全員が元気に北沢峠に到着することができました。



林道を通るバスでは、車窓から見えるいろいろな景色をとても丁寧に解説してくれました。南アルプス山脈の北端を伊那市側から見るよい機会となりました。午前9時30分頃から1日目の目的地の仙丈小屋へ向けて登り始め、約5時



間かけて到着することができました。途中いくつもの高山植物を目にすることもできました。生徒達もカメラを構え一生懸命に心を惹かれた自然や風景を撮影していました。

2日目、夜明け前の午前3時30分に起床して、午前4時から山頂に向けて登山を開始しました。晴れていれば頂上に向けて歩いている途中でご来光を見ることができた予定でしたが、残念ながらうすいガスの中を歩くような状況でした。それでもやはり頂上に到着した時のうれしさは格別でした。山頂稜線をぐるりとまわるようにして山小屋に戻り、朝食を食べてから下山となりました。

以前の号で、今回の登山を通して学ぶ・体験するテーマとして「感性」ということに触れました。そこで生徒の様子を「感性」という視点で見ていると、生徒たちが「自分が何を感じているのかを意識する」「自分が感じたことを記録する」という場面を多く見るすることができました。これまでおそらく「感性」という言葉を意識することは少なかったと思います。ところが登山に向けた事前学習のいろいろな場面で言われたからでしょうか、実際の登山の中でこうした言葉を使い、自分が感じることに意識を向けている姿を幾度も見ることでできて良かったと思いました。

最後に、今年度7年ぶりとなる仙丈ヶ岳登山を無事終了することができたのは、生徒の頑張りと保護者のご理解、芦安FCや芦安駐在所などサポートをしてくださった関係者のおかげです。生徒の教育に対して多くの方のご支援をいただいたことに感謝したいと思います。ありがとうございました。また、3000mの高峰に登る経験をしている中学生は多くはないと思います。生徒には自分の成し遂げたことに誇りを持って今後の学校生活もがんばってほしいと思います。

